

上沼の森植樹会に参加してきました

令和３年９月１１日（土）、米代川源流自然の会主催による「上沼の森植樹会」が鹿角市花輪の柴内山国有林で行われ、会員、一般市民、官公庁、林業関係者ら約５０人が参加しました。米代川源流自然の会では、市営牧場であった「上沼牧野」跡地を、かつての広葉樹の森に復元し、水資源のかん養や土砂崩壊防止に貢献したいと願って、平成１７年から広葉樹を主体に植樹を進めています。宮野会長は「地球



（広葉樹の苗を植樹）

温暖化など環境問題が叫ばれているが、人ごとではない。住みよい鹿角、地球を後世に伝えていくためにも植樹を続けたい」と挨拶しました。

この日は晴天に恵まれ、市内までくっきり見渡せる景色の中、参加者はブナ、ミズナラ、ナナカマド、オオヤマザクラの広葉樹約１，０００本をしっかりと根付くように植樹していました。



（植樹作業の様子）

こうした取組により、米代川源流の山が豊かな天然林に再生し、流域の河川や海が森林からすばらしい恩恵を受けられるようになることを願います。